

(別記)

令和5年度尼崎市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

<現状(令和4年度)>

本市は、猪名川、武庫川両河川領域を除き、市内全域が市街化区域となっている。大阪、神戸といった大都市に近い立地条件を活かして、長距離輸送に向かない軟弱野菜を集約的に栽培する典型的な近郊農業が行われているが、急速な宅地開発が行われたため、農地が住宅の間に点在するという状態になっている。約80％(生産緑地71％、宅地化農地9％)の農地は市域面積の約2%を占めている。全農地面積のうち水稻は約40%の33％、転換作物は主に、ネギ、ハウレンソウ、キクナ等の市場出荷用軟弱野菜及び自家消費野菜となっている。土地利用型作物である麦、飼料用作物等は全く栽培されていない。

<課題>

市内農家のうち兼業農家が大部分を占めていること、また農業従事者の高齢化に伴う担い手不足が一層進み、休耕地も中には見られるなど、きわめて厳しい状況にあり、生産面積の維持が大きな課題となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

需要が増加している野菜の安定生産や、消費者のニーズに対応した多様な品目の作付、高品質で安定した生産による産地ブランドの向上などの取組を通じて、特色ある産地づくりや、収益力の向上による経営の安定化を進める。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

相続発生に伴う転用の相談時などに水田であってもブロックローテーション体系の構築を検討しつつ、畑地化し市民農園の経営及び都市農地貸借円滑化法を用いた農地の活用、農福連携農地として提案するなど地道な取り組みを行う。

4 作物ごとの取組方針等

市内の約80haの農地について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持、拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

近年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ需要に応じた品種の普及及び栽培技術向上のための講習会等の開催により品質の向上を図りながら消費者ニーズに対応する。

(2) 備蓄米

当該地域は、備蓄米は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

当該地域は、飼料用米は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

イ 米粉用米

当該地域は、米粉用米は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

ウ 新市場開拓用米

当該地域は、新市場開拓用米は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

エ WCS用稲

当該地域は、WCS用稲は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

オ 加工用米

当該地域は、加工用米は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

(4) 麦、大豆、飼料作物

当該地域は、麦、大豆、飼料作物は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

(5) そば、なたね

当該地域は、そば、なたねは生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

(6) 地力増進作物

当該地域は、地力増進作物は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

(7) 高収益作物

ネギ、ホウレンソウ、キクナ等の市場出荷用軟弱野菜を少量多品目の振興作物として維持に努める。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位：ha)

作物	前年度作付面積 (ha)		当年度の作付 予定面積 (ha)		令和5年度の作付 目標面積 (ha)	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	35	0	33	0	35	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	0	0	0	0	0	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	0	0	0	0	0	0
麦	0	0	0	0	0	0
大豆	0	0	0	0	0	0
飼料作物	0	0	0	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0		0	0
そば	0	0	0	0	0	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	40.0	0	40.0	0	45	0
・野菜	37.4	0	37.4	0	40	0
・花き・花木	0.4	0	0.4	0	2	0
・果樹	2.2	0	2.2	0	3	0
・その他の高収益作物	0	0	0	0	0	0
その他						
・						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標	
				前年度（実績）	目標値
1	尼蒔を除く 地域振興作物 （別紙対象作物一覧表のと おり）	少量多品目 野菜生産支援	生産面積の維持	(令和4年度)17.6ha	(令和5年度)23ha
2	尼蒔	伝統野菜 の生産拡大支援	生産面積の拡大	(令和4年度)24.9a	(令和5年度)35a
3	地域振興作物 （別紙対象作物一覧表のと おり）	施設地域振興作物 （認定新規就農者支援）	認定新規就農者 の作付面積拡大	(令和4年度)25.5a	(令和5年度)45a
4	地域振興作物 （別紙対象作物一覧表のと おり）	施設地域振興作物 （認定農業者支援）	認定農業者等 の作付面積拡大	(令和4年度)42.9a	(令和5年度)55a
5	地域振興作物 （別紙対象作物一覧表のと おり）	露地地域振興作物 （認定新規就農者支援）	認定新規就農者 の作付面積拡大	(令和4年度)0.0a	(令和5年度)40a
6	地域振興作物 （別紙対象作物一覧表のと おり）	露地地域振興作物 （認定農業者支援）	認定農業者等 の作付面積拡大	(令和4年度)293.6a	(令和5年度)160a

- ※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
 ※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

～ 8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

別紙

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:兵庫県

協議会名:尼崎市農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	少量多品目野菜生産支援	1	10,000	尼蒔を除く地域振興作物(別紙対象作物一覧表のとおり)	作付面積に応じて支援
2	伝統野菜の生産拡大支援	1	20,000	尼蒔	作付面積に応じて支援
3	施設地域振興作物(認定新規就農者支援)	1	29,000	地域振興作物(別紙対象作物一覧表のとおり)	対象作物の施設栽培に取り組む認定新規就農者に対して作付面積に応じて支援
4	施設地域振興作物(認定農業者支援)	1	29,000	地域振興作物(別紙対象作物一覧表のとおり)	対象作物の施設栽培に取り組む認定農業者に対して作付面積に応じて支援
5	露地地域振興作物(認定新規就農者支援)	1	25,000	地域振興作物(別紙対象作物一覧表のとおり)	対象作物の露地栽培に取り組む認定新規就農者に対して作付面積に応じて支援
6	露地地域振興作物(認定農業者支援)	1	25,000	地域振興作物(別紙対象作物一覧表のとおり)	対象作物の露地栽培に取り組む認定農業者に対して作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

